

ひらんぼ



学んで守ろう わが身わがまち

ひらかた防災学校

2014年3月30日・メセナひらかた会館で開催





ひらかた防災学校

3月30日(日)「学んで守るうわが身がまち」のテーマのもと「ひらかた防災学校」がメッセひらかた会館で開催されました。

開校式の後、まず1時間目は、テレビでおなじみの気象予報士・蓬萊大介さんの講演が行われました。蓬萊さんは「気象災害から身を守るために」という内容で、テレビの天気予報以外で知る詳しい気象情報やその危険について話されました。また、防災士という立場から、普段の備えについてなど、ユーモアを交えながら、会場を所狭しと動き回り、エネルギーあふれる講演で観客を沸かせました。



2時間目は「防災学校ツアー」。NPOや社協、行政などの出展を、3つのグループに分かれて見学しました。ロビーの会場では、NPOの専門性を活かした防災の取り組みや災害支援の展示、ハンドマッサーなどが行われました。3階の会場では、枚方市の災害支援の写真や防災マップの展示、また社協による災害ボランティアセンター設置に関するDVD上映を行いました。ステージでは、避難所で固まりがちな心と体をほぐすストレッチ体操が行われ、長時間のプログラムの疲れを癒していました。



また、別の会場で開催された「ひらかた防災フチスクール」では、「すくすく」や「かるた」を使い、子どもたちでも楽しく防災について学べる工夫がされており、歓声響きわたっていました。

3時間目は「枚方災害シミュレーション」です。枚方市危機管理室、枚方市社会福祉協議会、ひらかた防災学校実行委員会がパネラーとなり、枚方市で災害が起こったら、どのように各機関が対応するのかを時系列で確認し、いざという時、それぞれがどう連携していけるのかを話しました。

今回で3回目の防災イベントでしたが、いろいろな機関の役割や動きについて、参加者みんなで確認し合う、充実したイベントとなりました。

(向井 範雄)



防災学校 時間割

13:00 開校式(開始)

1時間目

講演

「気象予報士 蓬萊大介と学ぶ 気象災害から身を守るために」

2時間目

「防災学校ツアー」

防災・減災、被災地支援に関する展示見学と体験

3時間目

「枚方災害シミュレーション」

パネルディスカッション形式で各機関の対応を確認

17:00 閉校式(終了)





上原 一恵さん

(インタビュアー／文・西川 史朗)

★NPO法人画像による文化財復元研究会

HP : <http://www.fukugen.info/npo/03tai/npo.htm#gaiyoutop>

★ウエハラキロク

HP : <http://www.ueharakiroku.com/index.php/>



風雨にさらされ退色した道標や神社の絵馬、放置され傷んだ古文書や掛け軸。地域や所有者にとつて、かけがえない文化資産の多くが、国などから文化財指定を受けていないがために修復されないまま放置されています。それらをデジタル画像化し復元・解読する、そんな活動を続けるNPO法人が枚方にあることを、皆さんは御存知でしょうか。

今回は「NPO法人画像による文化財復元研究会」のメンバーである上原一恵さんからお話を聞きました。

絵が好きだった子ども時代

長野県に生まれ育ちました。4人姉弟の一番上です。父はとても絵が上手く、私も絵を描くことが好きで、子どもの頃はコンクールにしばしば入賞していました。高校時代は美術部に所属し油絵やデザイン画を制作、卒業後は東京造形大学に進学しました。在学中に、新潟の地域起こしを目的する芸術祭「越後妻有アートトリ

エンナーレ2003」に参加、その時の経験がその後の私の方向性を決定づけたように思います。

将来の方向性を決めた経験

その経験とは、新潟県南西部の方言や食・習慣など有形無形の文化資産をデジタル映像や画像などにして保存・蓄積する「松代デジタルアーカイブ」の制作に関わったことです。この経験を通じ、文化の多くは誰かが保存していかなければ散逸・消滅してしまうという現実に危機感を覚えました。卒業制作では昔の子どもの遊び文化を取材しデジタルアーカイブにまとめた「きおくのきろく・子どもによる遊び」を制作、東京造形大学NPO賞を受賞しました。そして「文化資料の保存に携わる仕事がしたい」と強く思うようになりました。

卒業後の進路を模索する中、何とか大阪府枚方市にあった「文化財復元センター」に仕事が決まり、ほとんど縁がなかった関西での生活がスタートしました。



さまざまな復元作業

(資)文化財復元センターでは、さまざまな特殊撮影技術・画像処理技術・X線分析技術を貪欲に吸収しながら、文化財のデジタル復元に没頭しました。持ち込まれる依頼は、古文書や掛け軸はもとより、古い御位牌の読めなくなった戒名の解読や、断崖に彫られた磨崖仏の復元まで多種に渡りました。

同社に6年間勤務し、現在は習得した技術を活かして、同社が設立した「NPO法人画像による文化財復元研究会」のメンバーとして引き続き文化財のデジタル復元活動に携わりながら、技術の研鑽に努めています。



大切な思い出を残すやりがい

また、自身の個人事業として2012年に「ウエハラキロク」を設立しました。主に思い出フィルム写真の修復をしています。亡くなった祖父の古い写真をきれいに修復し、祖母にプレゼントしたいというお孫さんからの注文、東日本大震災の津波によって海水に浸かったアルバム写真の修復作業など。自分の技術と経験が依頼者の役に立ち喜んでいただけただけは、何にも代えがたいやりがいを感じます。

今後は写真の修復だけではなく、一人一人の大切な思い出を傾聴し、そのストーリーを文字や音声など、何らかの形で記録に残していく活動を始めたいと考えています。



ひらかた市民活動支援センター登録団体一覧

(特活) = 特定非営利活動法人(NPO法人)、(公社) = 公益社団法人、(社福) = 社会福祉法人

【主な活動分野の内容】保・福：保健、医療又は福祉の増進を図る活動、社会教育：社会教育の推進を図る活動、まちづくり：まちづくりの推進を図る活動、観光振興＝観光の振興を図る活動、地域振興＝農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動、学・芸／スポーツ：学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動、環境：環境保全を図る活動、災害救済：災害救済活動、地域安全：地域安全活動、人権平和：人権の擁護又は平和の推進を図る活動、国際協力：国際協力の活動、男女共同：男女共同参画社会の形成の促進を図る活動、子ども：子どもの健全育成を図る活動、情報：情報化社会の発展を図る活動、科学技術：科学技術の振興を図る活動、経済：経済活動の活性化を図る活動、職・雇：職業能力の開発又は雇用機会の充実を支援する活動、消費者：消費者の保護を図る活動、活動援助：団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動

登録番号	団体名	主な活動
1	ボーイスカウト北大阪地区協議会	子ども
2	紙芝居サークルよっちゃん	子ども
3	(公社) アジア協会アジア友の会枚方地区会	国際協力
4	保育ボランティアの会 ひまわりママ	子ども
5	(特活) NALC「天の川クラブ」	活動援助
6	(特活) 京阪総合カウンセリング	保・福
7	マジック“かわせみ”	子ども
8	枚方太極拳の会	スポーツ
9	イラク平和テレビ局in Japanひらかた	人権・平和
10	桜丘中学校区和太鼓の会<さくら>	子ども
11	(特活) 車椅子レクダンス普及会“矢車草の会”枚方支部	保・福
12	東香里中学校区健康リーダー	保・福
13	子ども家庭支援センターファミリーポートひらかた	子ども
14	(特活) 北河内ボランティアセンター	保・福
15	一休クラブ	学・芸
16	サークル風(漫才と演劇)	保・福
17	(特活) ひらかた自助具工房	保・福
18	水道方式で算数・数学を学ぶ会	社会教育
19	黎明塾・百済寺を考える会	学・芸
20	(特活) サンスクエア	保・福
21	図書館フレンズ・ひらかた	社会教育
22	喜代の会	学・芸
23	みんなであつくる学校 とれぶりんか	社会教育
24	枚方エコサイクル	環境
25	あんしんサポート御殿山(大阪高齢者生活協同組合)	保・福
26	パナソニック松愛会ハムクラブ	子ども
27	くずはの輪	保・福
28	(特活) エコ・スマイルひらかた	環境
29	枚方アマチュア無線クラブ	災害救済
30	(特活) 日本ウミガメ協議会	環境
31	桜丘中学校区健康リーダー	保・福
32	くらわんかフェスティバルin枚方実行委員会	まちづくり
33	(特活) ハートネット	保・福
34	Hippoしえんろんファミリー	国際協力
35	JAFSいのちの会・枚方	国際協力
36	ひらかた子育て支援ネットワーク	子ども
37	(特活) 幸せな家庭環境をつくる会京阪奈枚方支部	まちづくり
38	(特活) パーソナルサポートひらかた	保・福
39	「こどもと本」香里ヶ丘市民学級	子ども
40	枚方いきいきパソコン教室	情報
41	音楽でリフレッシュ!	学・芸
42	枚方しぜんハイキング	環境
43	(特活) BEアカデミー	子ども
44	(特活) サイクルボランティア・ジャパン関西支部	スポーツ
45	(特活) スペシャルオリンピックス日本・大阪	スポーツ
46	新日本婦人の会 枚方支部	人権・平和
47	枚方いきもの調査会	環境
48	枚方渚釣友会	環境
49	Joinネイチャースクール	子ども
50	子育て広場「さぶり」	子ども

登録番号	団体名	主な活動
51	枚方障害者スポーツ連絡会	スポーツ
52	香里そば打ち同好会	社会教育
53	クッキー工房おれんじはうず	保・福
54	レディス枚方21	人権・平和
55	苺のいえ	社会教育
56	枚方中部おやこ劇場	子ども
57	(特活) つばさの会 大阪	職・雇
58	LIP編集局	まちづくり
59	香里地域母親集会実行委員会	社会教育
60	(特活) ひらかた環境ネットワーク会議	環境
61	(特活) 日本パーソナルセラピー協会 大阪支部	社会教育
62	海の世界(ボランティアチーム)	保・福
63	(特活) 子育てネットくるみの会	子ども
64	歴史散歩の会	社会教育
65	ビジョンヨガ枚方	保・福
66	(特活) 京街道魅力づくり	学・芸
67	(特活) 遊びリテーションわくわく枚方	保・福
68	(特活) ホームベース	保・福
69	ママも子どももHappyにおやこdeすまいる	子ども
70	(特活) デイジー枚方	保・福
71	太極拳・気功サークル	スポーツ
72	(特活) 画像による文化財復元研究会	学・芸
73	(特活) けいはんな文化学術協会	学・芸
74	京都千年天文学街道(NPO花山星空ネットワーク)	観光振興
75	教育コンサルタントファームGAPP	職・雇
76	sakuら-にんぐ	子ども
77	あそぼプロジェクト	子ども
78	(特活) キッズナビわかば	子ども
79	琉球少林流空手道 月心会	スポーツ
80	(特活) ゆいむ(結夢)	保・福
81	天の川七夕星まつり会	学・芸
82	WENT	学・芸
83	(特活) コーチズ大阪	保・福
84	放課後クラブ「チャレンジ・キッズ」	子ども
85	(特活) ホース・フレンズ事務局	子ども
86	ひらかたAKAYの会	国際協力
87	(特活) 人間行動科学研究会	社会教育
88	イフィック(関西国際家族友好団体)	国際協力
89	(特活) ひまわり七宝	保・福
90	ハッピーマジック	学・芸
91	大阪メチャハッピー祭in枚方実行委員会	学・芸
92	(特活) のあつく自然学校	子ども
93	(特活) 日本アウトドアエデュケーションアカデミー	社会教育
94	(特活) 日本バンドミュージック振興協会	学・芸
95	(特活) コミュニティー信頼	社会教育
96	枚方演劇連絡会	学・芸
97	(特活) 雅夢	学・芸
98	(特活) コスモス医療福祉協会	保・福
100	手話サークル青柿	保・福
101	mihy明愛	まちづくり

登録番号	団体名	主な活動
102	(社福) やなぎの里	保・福
103	虹のアトリエ	学・芸
105	ラック・楽ソーラン	保・福
106	(特活) 枚方市障害者事業協会	保・福
107	御殿山竹遊会	社会教育
108	じんじん祭実行委員会	子ども
109	やんちゃっ子ひらかた	子ども
110	中宮チャンゴの会	学・芸
111	(特活) 森林ボランティア竹取物語の会	環境
112	M.B.C.「レインボー」	学・芸
113	夢工房「輝」	学・芸
114	枚方南おやこ劇場	学・芸
115	(特活) 枚方市手話通訳協会	保・福
116	(特活) 枚方マンション管理組合連合会	まちづくり

登録番号	団体名	主な活動
117	YBC(笑)ースポーツ応援クラブー	学・芸
118	くらわんかアーバンステージ振興委員会	学・芸
119	ひらかた肝高倶楽部	子ども
120	みんなでつくる広場「ちょこっと」	保・福
121	とっておきの音楽祭 in ひらかた 実行委員会	学・芸
122	平成寺子屋	子ども
123	ひらかた平和ロード九条の会	人権・平和
124	NACS-J 自然観察指導員大阪連絡会	環境
125	朗読ボランティアグループ「コスモス」	保・福
126	(特活) きらく会	保・福
127	(特活) 枚方交野国際奉仕活動協会	国際協力
128	傾聴ボランティアグループ「ちょうちょ」	保・福
129	(特活) じゅえる	保・福
130	ガールスカウト大阪府第101団	子ども

ひらかた市民活動支援センターの登録団体になりませんか?

ひらかた市民活動支援センターに団体登録すると、市民活動の情報を得たり、備品の貸出などの利用ができます。また、サプリ村野内の市民活動ネットワークルームに、チラシを設置したり、ポスターを掲示するためにも、当団体の登録が必要です。詳しくは、事務所までお尋ねください。(TEL: 072・805・3537)

枚方市NPO活動応援基金補助団体報告

平成26年度枚方市NPO活動応援基金の補助団体が決定しました。今年度、下記の通り事業を実施しますので、ご理解とご協力をお願いします。

大阪視覚障害ゴルフアーズ協会

* ブラインドgolfer練習ラウンド及び競技大会

北大阪後見制度支援センター

* 成年後見制度セミナー

つばさの会大阪

* ひきこもりの若者活性化事業

今年度もやります! マネジメント講座

今年度も、NPO活動や市民活動に活かせるさまざまな講座を行います。
6月16日(月)は、「熱中症予防とAED講座」、7月10日(月)は、「プロが教えるプレスリリース講座」を行います。また、9月は「助成金講座」、11月には「NPO大学」といった企画も予定しております。それぞれ講師陣も魅力的な方ばかりです。詳細は、各施設にあるチラシや、HPをご確認ください。



「登録団体交流会」を行いました。(特活)ひらかた市民活動支援センターの登録団体が参加し、「イベントの仕掛け方」というテーマで、フリーディスカッションを行いました。

企画や集客方法、広報や費用面についてなど、多岐にわたる内容について意見交換をしました。今後は、交流会で出たノウハウや情報提供の共有が必要だということと、いろんな団体と交流していきたいという感想等が出ていました。今回は、参加団体が少なかったですが、団体同士で学び合いたいなど前向きな団体に集まっていたら、今後のイベントに活かせるヒントも多くあったようです。「登録団体交流会」は、次回、7月18日(金)を予定しています。皆さんも団体活動の新たなヒントを探しにきませんか?

新たな活動のヒントと共有の場に!



まちづくり井戸端会議って何？

進行役の植田奈保美さんに聞く。
「テーマがない。全員、肩書きはせずして参加。批判はしない。記録もしない。」「えっ、それで会議？」とびっくりしながら参加。全員で口の字型に座り自己紹介。



ゲストの久先生

今回は団体代表者、NPOを支援したい人、ミニコミ編集者、N

POを知りたい人など多彩。それぞれの活動のこと、最近感じたこと、問題点など話す。ボードに出席者の位置と名前だけ書かれる。途中からゲストの近畿大学総合社会学部教授久降浩先生も参加。にこやかに話され、一巡した後はフリートーク。植田さんは、ほとんど口をはさまず。自然発生的に、興味を持った話題や感想が行き交い、先生からもシャッター通りを復活させた話なども出て、なごやかなムードのうちに終了。



参加者からの発言の様子

終わった後の時間も重要な。



井戸端会議の様子

今後つながりを持ちたい相手と、名刺やアドレスを交換。「井戸端会議は市民活動のモデル。リーダーががんばり過ぎると皆が指示待ちになり、リーダー一人疲れる。皆が自発的にやる気を出したり発言するのが市民活動」と先生。

この井戸端会議から、また一つ、いきいきとした市民活動が生まれるかも。



(文・高橋 佳子/写真・熊澤 力)

太極拳・気功で元気になろう！

今回の講座は、やさしさ、ふれあいのまちづくりの講座の中で、5月10日から31日までの毎週土曜日に、各人の健康、体調に合わせて無理なく健康維持、増進をしようというものです。

太極拳は、古武術として発展したため、習得が難しかったのですが、健康効果は、古くから中国で認められていました。近年では、武術というよりは健康体操としての活用が広まり、激しい動きや運動をしなくても十分な効果があり、場所や経費をかららないので、各地で普及しています。

気功も同じく中国で発達した健康法ですが、目に見えない「気」は誰にでもあるようですが、個人差があつて皆が同じレベルではないようです。



15分ほどで歩く基本を軽く習い、少し休憩の間に「気功」の動作で気を静めます。講師は各人の状態に合わせて、腰痛で歩行困難な方は、窓際の枠をつたって無理をせず、高齢者もゆっくりと歩く練習をしているうちに、何となく太極拳の形になつてきたようです。

今日の「まずは歩く形」はできたよつて、次回からはどんな技ができるのか期待できそうです。(写真/文・長島 信一)

春からはじめよう！枚方のボランティア

レポート

今年3月に定年退職し、時間の余裕があり、何の特技もなかった私にとって、広報ひらかたの4月号の記事がきっかけでした。対象者は何から始めればよいかわからない人だったので、私でも何かできることがあるのではない、4月19日(土)、サプリ村野で「春からはじめよう！ボランティア」に参加しました。

まずボランティアとは？という説明から「四つの原則」、①自発性、②無償性、③社会性、④想像性が必要なこと。枚方市では、3つの活動センター(ひらかた市民活動支援センター・枚方市ボランティアセンター・北河内ボランティアセンター)があり、それぞれの独自の活動をしていること。各センターの活動等の説明を聞きました。

中でも、北河内ボランティアセンターは、主に介護支援等



の活動をしていて、会費や寄付等で運営しているが、会員が不足して運営が大変だと聞き、改めて日々こういった活動をされている方々に畏敬を感じました。また、NPOとは何か？という説明もありました。



ひらかた市民活動支援センターのあるサプリ村野は、以前、小学校だった校舎を改装して、さまざまな研修・会議・子育て支援活動等に利用されています。枚方市民でありながら、こういった施設・活動があることさえ知らなかった私にとって、とても有意義で一歩前に進める講座でした。(岡谷 幸子)

ひらかたNPOフェスタ 2014

日時：2014年9月21日(日)

場所：岡東中央公園

枚方市市民会館ほか

実行委員長・副実行委員長決定！

今年度の実行委員長は、河田 輝彦さん(ひらかた市民活動支援センター)になりました。

また、副実行委員長は、木下 容子さん(YBC(笑)-スポーツ応援クラブ-)さんと、平井 亜希子(日本パーソナルセラピー協会大阪支部)さんが選ばれました。

今回は、参加団体が分野に分かれて出展する取り組みを進めています。新たなイメージで開催予定の「ひらかたNPOフェスタ2014」に、ぜひご期待ください。

市民活動ネットワークルーム

展示スペースご利用の案内

サプリ村野の南館1階にある「市民活動ネットワークルーム」内で、ポスターや写真などの展示ができます。

- 対象団体：特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センター会員団体および登録団体
- スペース：90×180のプラベニア板(半透明)3枚分
- 展示期間：最長2週間



市民活動ネットワークルームの入口



このコーナーの3枚が展示スペース

詳しくは、お問合せください。
ひらかた市民活動支援センター
TEL：072・805・3537

2014年度 定時総会 報告



5月25日(日)に、2014年度特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センター定時総会が開催されました。

来賓として、梅崎枚方市副市長、鷺見枚方市議会議長、村橋教育委員

会教育長のご臨席をいただき、予定された議案について審議し、承認をいただきました。

2013年度から、サプリ村野管理運営事業をはじめ、NPOサポート事業を受託し、サプリ村野を中心とした市民活動のサポートを行ってまいりました。

また、枚方市NPO活動応援基金事業、留守家庭児童会室市民参画事業、男女共同参画社会づくり支援講座事業も、昨年度に引き続き受託し、会員団体、登録団体、実行委員、ボランティアスタッフと共に、計画に従って、企画実施していく予定です。



設立当初から行ってきた「ひらかたNPOフェスタ」や、東日本大震災以降に始めた防災災害支援事業は、より地域など他セクターとのつながりを強めるための事業展開をしていきたいと思っております。
受託事業以外にも、さまざまな自主事業に取り組んでおり、「支える」「応援する」だけでなく、「創り出す」ことに広げていけるように努めていきます。
2014年度も皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。



編集後記

ネーミングが決定!! 「ひ・ら・ん・ほ」

昨年度から募集していた、本紙のネーミングは、「ひ・ら・ん・ほ」に決定しました。ひらかた市民活動支援センターのキャラクターである「ひらんぼ」を全面に押し出したネーミングは、ボーイスカウトの澤村一男さんが、応募してくれました。澤村さんには、記念品を贈呈します!

思いもかけず愛らしいネーミングとなり喜んでいきます。今後も皆様に愛されるような紙面づくりに励んでいきたいと思っております。(編集者・S)



サプリ村野の正面玄関脇にある「ビオトープ」には、青々と草木が生い茂り、池には可愛らしい蓮の花が咲いており癒しの空間です。

サプリの
1
ショット



編集・発行：特定非営利活動法人 ひらかた市民活動支援センター
〒573-0042
大阪府枚方市村野西町5-1サプリ村野内
TEL：072-805-3537 / FAX：072-805-3532
Eメール：info@hirakatanpo-c.net
http://www.hirakatanpo-c.net/